

# 平成 25 年度全国養護教諭研究大会報告

陸前高田市立米崎小学校 紺野洋子

- 1 期 日 平成 25 年 8 月 8 日（木）～9 日（金）
- 2 会 場 山梨県甲府市総合市民会館 恩賜林記念館大会議室
- 3 大会主旨 学校保健活動の推進の中核となる養護教諭の支援や連携のあり方について研究協議を行い、学校における健康教育の推進及び養護教諭のより一層の資質向上に資するものである。
- 4 主 題 生きる力を育む健康教育の推進と養護教諭の役割  
～学校・家庭・地域が連携した学校保健活動の実践～
- 5 記念講演 「愛と夢と勇気を育む健康な学校づくり～WHOヘルスプロモーションの視点から～」  
順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 教授 島内 憲夫 氏  
WHOの提案する健康な学校づくりは、健康的な生活習慣づくりを含む幅広いヘルスプロモーション活動の大事な5つの視点①健康な学校づくり施策②健康を支援する環境づくり③地域健康づくり活動の強化④個人技術の開発⑤ヘルスサービスの方向転換がある。  
「健康な学校づくり」とは、学校に関係するすべての人々が子ども達の健康を支援するために協力して活動を展開することである。
- 6 基調講演 「生きる力を育む健康教育の推進と養護教諭の役割～児童生徒の心身の健康問題への対応と養護教諭～」  
文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課健康教育企画室  
健康教育調査官 岩崎 信子 氏  
養護教諭の学校保健安全法から見る役割として保健室（第7条）保健指導（第9条）地域の医療機関等との連携（第10条）危険等発生時対処要領の作成等（第29条）があり、災害や事件事故発生後の心的外傷等の心身の健康に対する影響を受けた子どもや関係者の心のケア等が法に位置づけられた。養護教諭の役割は、多様化した心身の健康問題に対する支援及び指導的役割、健康安全に関する危機管理における指導的役割、いじめや不登校児童生徒の早期発見・早期対応、組織的な健康相談の推進。学校保健センター的役割を果たしている保健室経営の充実、生きる力を育成する健康教育の推進がある。日進月歩する医学知識や技術の習得に努め専門職としての研鑽を積んでいくことが必要である。

## 7 シンポジウム

### (1) 「市川市におけるこどもの生活習慣病予防対策

～すこやか検診とそこからみるこどもの生活習慣の問題点～

千葉県市川市学校保健会 評議員 小林 靖幸 氏

市川市におけるこども生活習慣予防対策は、ヘルシースクール事業の一環として実施している学校と地域医療機関との連携による検診と保健指導。一次検診、二次検診というステップを踏まえた詳細な検討からこどもの生活習慣の問題点を明確化し、それをもとに充実した保健指導を展開している。

### (2) 「21世紀を輝き生きる児童の育成に向けた私の学校経営

～教務主任・研究部長・養護教諭をキーマンとして～

熊本県熊本市黒髪小学校 校長 藤本 典子 氏

養護教諭が積極的に専門性を発揮し、教務主任・研究部長とともに心身の健康教育を推進している学校事例を紹介。具体的に、教育課程の工夫・教科や学級活動への位置づけ・「心の教育」の校内研究・心を見つめる活動・家庭、地域との連携があげられている。

### (3) 「群馬県における学校、家庭、地域が連携した学校保健活動の取組」

群馬県教育委員会健康体育課 指導主事 山田 知利 氏

学校・家庭・地域が連携した保健組織活動の実態とその有効性について発表。特に中学校区の小中学校、幼稚園、高等学校という複数の異種校による地域合同学校保健委員会の組織づくりは、幼児から高校生までこどもの健康実態を縦断的に把握することが可能となり、健康問題を解決していくために非常に有効な取り組みである。

### (4) 「生きる力を育む健康教育の推進と養護教諭の役割

～心身の健康課題解決に向けた地域関係機関との連携の取組を通して～

山梨県富士河口湖町立河口湖北中学校養護教諭 小佐野登美子 氏

発育発達を踏まえて、こどものつまづきを的確に捉え、将来を見据えて支援していく体制づくりの重要性について、校内体制から地域体制へと発展しながら、こどもを地域ぐるみで支援することの重要性を発表。

(講話) 健やかなこどもを育むため3つのキー・ワードがある。統一性：目的・重要性の共通理解。構造化：地域ネット、モデル化。継続性：長期的な取り組み。それぞれの学校や地域の特性を生かし、こどもの発達段階に応じて目指すこども像や目標とする指標を設定したうえで、取組を計画し実践していくことが重要である。

コーディネーター 山梨大学大学院 教授 中村 和彦 氏

## 8 課題別研究協議会（歯・口の健康づくり）

「基本的な生活習慣を身につけるための歯科保健活動の進め方」

山梨県北杜市立須玉中学校 養護教諭 小泉明美 氏

「教科、総合的な学習の時間及び特別活動等における歯科保健の指導計画の作成と指導の進め方」

岡山県新見市立矢神小学校 養護教諭 竹本 純子 氏

「生涯にわたる歯・口の健康づくりについて」

鹿児島県鹿児島市立鹿児島女子高等学校 養護教諭 上戸 佳代 氏

「生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方」

昭和大学歯学部小児育成歯科学教室 教授 井上 美津子 氏

歯や口の健康づくりは、生活習慣の改善につながる。食生活の基盤になり、また生涯にわたる生活の質（QOL）の向上に結びつく。8020運動に向け、小児期からの歯と口の健康づくりが重要である。食生活や咀嚼習慣が生活習慣病を予防して健康長寿にもむすびつく。生活習慣が自立していく学童期において歯・口の健康教育を通して生涯にわたる自己管理能力を育てていくことの重要性は高い。